# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

JP 64-087395

(43)Date of publication of application: 31.03.1989

(51)Int.CI.

B42D 15/02

G06K 19/00

G11B 23/30

(21)Application number : 62-246068

(71) Applicant: TOPPAN PRINTING CO LTD

(22)Date of filing:

30.09.1987

(72)Inventor: OTANI KOJI

OCHIAI TETSUMI ONISHI HIDEYUKI

# (54) INFORMATION RECORDING CARDS

(57) Abstract:

PURPOSE: To make it possible to not only prevent forgery or falsification of an information recording card but also easily identify whether the card is true or false by forming on an infrared reflecting layer a shield layer to make the infrared transmissive and an infrared reflecting layer invisible. CONSTITUTION: There is few possibility that an information recording card is forged or falsified since a magnetic layer 2 functions as an infrared absorbing layer and further, the existence of the infrared absorbing layer and an infrared reflecting layer 3 are not easily sensed. When applying infrared to the card, the infrared reflecting layer portion thereof reflects the infrared. While, the infrared is passed through the non-existing portion of the infrared reflecting layer and thus, the infrared is almost absorbed thereby since the magnetic layer 2 functioning as the infrared reflecting layer is formed on the foregoing non-exiting portion. Accordingly, it is possible to identify whether the card is true or false by reading a pattern caused by the big difference of the infrared reflection ratio between the existing portion of the



infrared reflecting layer 3 and non-existing portion thereof. Furthermore, as the magnetic layer which also functions as the infrared absorbing layer and the infrared reflecting layer are made invisible by a shield layer 4, it is possible to make their existence more difficult to be perceived.

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

## 19日本国特許庁(JP)

① 特許出顧公開

# @公開特許公報(A)

昭64-87395

 
 動Int.Cl.\*
 識別記号
 庁内整理番号
 砂公開
 昭和64年(1989)3月31日

 B 42 D 15/02
 3 3 1
 P-8302-2C E-8302-2C R-6711-5B A-8622-5D
 要査請求
 未請求
 発明の数 1 (全4頁)

**9発明の名称** 情報記録カード

②特 願 昭62-246068②出 願 昭62(1987)9月30日

79発 明者 幸 大 谷 東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内 0発 明者 落 合 哲 美 東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内 個発 明 者 大 西 秀 之 東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内 の出 顔 東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社

四代 理 人 并理士 鈴江 武彦 外3名

明. 細 書

### 1. 発明の名称

情報記録カード

### 2. 特許請求の範囲

紙、ブラスチックシート等からなるカード基体の上に磁気記録層を設け、またこの磁気記録層の上に、一部分がパターン上に欠如している赤外線反射層を設け、さらにこの赤外線反射層の上に、赤外線を透過しかつ前記赤外線反射層を不可視とする聴磁層を設けて成ることを特徴とする情報記録カード。

# 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は磁気記録器を持つカードに保り、特に偽造を効果的に防止すると共に、 良偽の判別を容易に行ない得るようにした情報記録カードに関するものである。

## (従来の技術)

近年、磁気記録媒体に機械銃取り可能な情報 を記録してなるカード類の普及には著しいものが あり、IDカード、クレジットカード、キャッシュカード、ギフトカードをはじめとして、テレフォンカードに代表されるプリペイドカード、乗車券、回数券、定期券等、多くの分野で利用されてきている。

## (発明が解決しようとする関題点)

以上のように、従来のこの様のカードにおい ては、偽造あるいは改ざんして悪用される恐れが 多いことから、これを防止するための技術を駆使 したカードの出現が強く望まれてきている。

本兜明は上述のような問題を解決するために成 されたもので、その目的は記録された複報を不可 祖として偽造,改ざん等をより一層効果的にかつ 確実に防止できると共に、耳鳥の判別を容易に行 なうことが可能な信頼性の高い情報記録カードを 選供することにある。

# (問題点を解決するための手段)

上記の目的を達成するために本発明では、抵。 プラスチックシート等からなるカード茲体の上に 磁気記録層を設け、またこの磁気記録層の上に。 一部分がパターン上に欠如している赤外線反射階 - を透過しかつ赤外線反射層を不可視とする隠蔵層 を設けるようにしている。

### (作用)

従って、本発明の情報記録カードにおいては、 磁気層が赤外線吸収層を兼ね、この赤外線吸収層 および赤外線反射層は、その存在が容易に察知さ れないことから、偽造、改ざんされる恐れが少な

第1図乃至第3図は、本苑明をプリペイドカー ドに適用した場合の一実施例を示すもので、第1 図はカード裏側の平面図、第2図は第1図のX-X 、断面図、第3図は第1図のY-Y・断面図を 夫々示すものである。

第1図乃至第3図において、プリペイドカード の一部を構成するカード基体1の表面に磁気記録 暦2を設け、またこの磁気記録暦2上には、一部 分がパターン上に欠如している赤外線反射層3を 設けている。このパターンは、例えばパーコード パターンの如く情報を記録するもの、あるいはパ ターンの存在の有無を確認できるものであっても よい。さらに、この赤外線反射暦3の上には、赤 外線を透過しかつ赤外線反射層3を不可復とする 恩載暦4を設けている。さらにまた、この恩蔵暦 4の上には透明な保護暦5を設けている。

ここで、カード芸体1は抵あるいはプラスチッ クシート等からなるものである。また磁気記録層 2は、例えば下衷に示すような碓住体からなるも のであり、所望の情報を磁気記録している。一方、

い。また、カードに赤外線を照射すると、赤外線 反射層の存在部分は赤外線を反射し、一方欠如部 分は赤外線をそのまま通過し、その内部に赤外線 吸収層を凝ねた磁気層を設けていることから、こ の赤外線をほとんど吸収する。従って、赤外線反 別層の存在部分と欠如部分とにおける赤外線の反 射中の大きな違いから、パターンを読取ってカー ドの真偽の判別を行なうことが可能である。さら に、赤外線吸収階を兼ねた磁気層および赤外線反 射層は、陸蔽層により不可視となっていることか ら、その存在の祭知をより一番困難とすることが 可能である。一方、磁気層が赤外線吸収層を兼ね を設け、さらにこの赤外投反射層の上に,赤外線 ていることから、赤外線吸収層を別個に設けるこ となく赤外線の吸収が行なえる。従って、その分 だけ層構成を単純化してカードを薄くすることが できると共に、その分だけコストダウンおよび裂 遊工程数の低減化を図ることが可能となる。

#### (実施例)

以下、本発明の一実施例について図面を参照 して詳細に説明する。

赤外線反射磁3は、倒えばアルミニウム(AI)、 クロム(Cr)等の金属蒸益層、あるいは炭酸カ ルシウムまたは酸化チタンを主成分とする白イン キ等からなるものである。また恩滋暦4は、赤外 接は透過させるが可視光は透過させない、例えば 第4図に示すようなプロセスイン主 (質, マゼン ク,シアン、これらを一般にY,M.C.と称し ている) を適当に混色したグレー系等のインキか らなるものである。さらに保護暦5は、例えばカ ード芸体1が紙である場合には、OPニスをコー **| トするか或いは塩ビ等の透明プラスチックフィル** ムを貼り合わせることで形成し、またカード茲体 1 がプラスチックシートである場合には、塩ビ等 の透明プラスチックシートをラミネートすること で形成するものである。

化学制政	·杂	雅	形状(エルステッド)	お前田の	*
r-Pes 0,	マグヘマイト 「一般化路	31¢	210~100	12~18	ABA. AZS1. 1503554 1015 1231 1231 1231 1231 1231 1231 1231 12
F e, 04	77.49.4	外块	350-450	10~12	かでいる私が他
		庭坑	200	2	近の出れ人ンサ
C 0 - r F 0 3 O 3	コンイルトはむ	林	\$00~100	70~10	山子母な用語ロケード、第一代は田民カード、フェッフ・コンのは、田内山県、田内山県、田内山県、田内山県、田内山県、田内山県、田田山県、田田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田
	コペルトドープ	भक्ष	\$00~100	~ 5	単気はお川マスターシート
840.6Fe. 0, 14974	74031		1800~3000	80-70	Kindrish Hand
	72511	数な	008	2	以此位型的记录以外
Fe	金属技	¥	1100~2000	130~160	130~100 Mikig - 25H-74PF11RCA
		l			

以上のように視成したブリペイドカードにおい ては、磁気層2が赤外線吸収路を琥ね、この赤外 **線吸収層および赤外線反射層3は、その存在が容** 曷に尞知されないことから、為違。 改ざんされる 恐れが少ない。また、カードに赤外線を取引する と、赤外線反射區3の存在部分は赤外線を反射し、 一方欠如部分は赤外線をそのまま通過し、その内 部に赤外線吸収層を兼ねた磁気路2を設けている ことがら、この赤外線をほとんど吸収する。すな わち、磁気記録路2は上表に示したような磁性体 ,から形成しており、特にパリウムフェライトで形 - 成した場合にはその色がほとんど黒色となるため、 磁気記録階 2 は赤外線吸収層としても作用するこ とになる。従って、赤外線反射層3の存在部分と 欠如部分とにおける赤外線の反射率の大きな違い から、パターンを読取ってカードの異偽の判別を 行なうことが可能である。具体的方法としては、 赤外線センサにてこの記録部を走査し、そのパタ ーンに応じた出力信号を得、この出力信号が所定 のものか否かを確認することで真偽を判別したり、

#### (発明の効果)

以上説明したように本発明によれば、紙、ブラスチックシート等からなるカード基体の上に は 気に縁屈を設け、またこの磁気に縁居の上に、一部分がパターン上に欠如している赤外線反射局を 設け、さらにこの赤外線反射層の上に、赤外線を 透剤しかつ赤外線反射層を不可視とする医蔽層を 設ける構成としたので、記録された情報を不可 として偽造、改ざん等をより一層効果的にかつ確実に防止できると共に、異偽の特別を容易に行なうことができ、しかも層構成を単純化してカードを薄くし、コストダウンおよび製造工程数の低減化を図ることが可能な信頼性の高い情報記録カードが提供できる。

## 4. 図面の助単な説明

第1 図乃至第3 図は本発明をプリペイドカードに適用した場合の一実施例を示す図であり、第1 図は同カード裏面の平面図、第2 図は第1 図のX-X 断面図、第3 図は第1 図のY-Y が面図、第4 図は良蔵圏の形成に用いるプロセスインキの分光反射事特性

を示す曲線図である。

1 ··· 力一ド基体、 2 ··· 磁気記錄層、 3 ··· 赤外線 反射層、 4 ··· 隐蔽層、 5 ··· 保護層。

出期人代理人 弁理士 焓 江 武 彦

